

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																						
武雄看護 リハビリテーション学校		平成23年2月7日	太田 貞武		〒843-0024 佐賀県武雄市武雄町大字富岡12623番地 (電話) 0954-23-6700																						
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																						
学校法人福岡保健学院		平成2年3月22日	蒲池 昭子		〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘2-1-12 (電話) 092-607-0053																						
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																					
医療	医療専門課程	看護学科			平成23年文部科学省 告示第166号	-																					
学科の目的	人間性豊かな人格の形成と、看護師となるために必要な知識及び技術を専門的に教育し、社会に貢献する有能な人材を育成することを目的とする。																										
認定年月日	平成30年2月27日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
3年	昼間	3015 時間	1980 時間	0時間	1035 時間	0時間	0時間																				
単位時間																											
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
120人	120人	0人	13人	57人	70人																						
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ・各講義科目の出席日数が3分の2以上の者について、各講義の終講時試験を実施し評価する。授業科目等の評価はA・B・C・Dの4段階とし、C以上を合格とする。																						
長期休み	■夏季:7月最終土曜日から4週間 ■冬季:12月第4土曜日から2週間 ■春季:3月第3土曜日から2週間			卒業・進級条件	・履修すべき科目のすべてにおいて単位修得(101単位・3015時間)の認定を受けたものについては、学校長が卒業を認定する。																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 定期的にクラス担任による面談実施。必要時は副学校長による面談等。3年生はチューター制で学習支援を実施。			課外活動	■課外活動の種類 クラブ活動などの課外活動あり。地元市内のボランティア活動、各種団体、施設のボランティア。地域清掃活動、カンボジア研修旅行 ■サークル活動: 有																						
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) 一般社団法人巨樹の会 新武雄病院等 ■就職指導内容 教員による履歴書及び面接の指導を行ない、就職試験に向けて指導を実施している。外部講師による就職にむけてのマナー教育。 ■卒業生数: 40 人 ■就職希望者数: 40 人 ■就職者数: 40 人 ■就職率: 100 % ■卒業者に占める就職者の割合: 100 % ■その他 ・進学者数: 0人 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師国家試験</td> <td>②</td> <td>40人</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	看護師国家試験	②	40人	40人												
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																								
看護師国家試験	②	40人	40人																								
中途退学の現状	■中途退学者 0 名 平成28年4月1日時点において、在学者120名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者120名(平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任、教員等による面談等によるフォロー、学校行事を通してリフレッシュを図る。学生カウンセリングの利用。			■中退率 0 %																							
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 無 ※有の場合、制度内容を記入 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																										
当該学科のホームページURL	<a href="http://www.takeo-nurse-reha.jp">http://www.takeo-nurse-reha.jp</a>																										

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

看護教育において、社会から求められている看護実践能力の育成は必須である。臨地実習の場での教育内容は企業との連携において必要な内容を加味する必要がある。企業側の求める看護基礎教育への提言を基に、最新の知識・技術、必要とされる人材像等の意見を反映し、授業内容の抽出・授業方法等の工夫を行うと共に、臨地実習施設と連携し、社会貢献できる人材の育成を目指した臨地実習の環境・実習内容・指導方法等の工夫を実施していく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

学校法人福岡保健学院として教育課程編成委員会を置き、学科の分科会を実施する。外部委員に加えて学科の責任者が内部委員として参加する。ここで出た意見や要望を自校に持ち帰り、教員会議にて検討し、カリキュラム全般、教育内容の追加や、方法の工夫等へ活用していく。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
田爪 正氣	学校法人 健康科学学園	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日(2年)	②
末廣 小百合	社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日(2年)	③
加藤 利沙	社会医療法人財団 池友会 新小文字病院	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日(2年)	③
田中 比呂子	社会医療法人財団 池友会 福岡新水巻病院	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日(2年)	③
羽野 琴美	社会医療法人財団 池友会 新行橋病院	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日(2年)	③
島田 道子	一般社団法人 巨樹の会 新武雄病院	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日(2年)	③
春口 幸太郎	社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日(2年)	③
岩本 尚悟	社会医療法人財団 池友会 新小文字病院	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日(2年)	③
池田 裕一	社会医療法人財団 池友会 新行橋病院	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日(2年)	③
野村 晋広	一般社団法人 巨樹の会 新武雄病院	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日(2年)	③
林田 大輔	一般社団法人 巨樹の会 新武雄病院	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日(2年)	③
饗場 智暁	一般社団法人 巨樹の会 下関リハビリテーション病院	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日(2年)	③
佐藤 稔	株式会社 シダー (福岡県作業療法士会理事)	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日(2年)	①
穴井 翼	社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日(2年)	③
清水 慎吾	社会医療法人財団 池友会 香椎丘リハビリテーション病院	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日(2年)	③
福永 暁	社会医療法人財団 池友会 福岡新水巻病院	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日 【退任】	③
峰 剛樹	社会医療法人財団 池友会 香椎丘リハビリテーション病院	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日 【退任】	③
音地 亮	社会医療法人財団 池友会 福岡新水巻病院 (福岡県理学療法士会理事)	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	①
花田 宗久	社会医療法人財団 池友会 香椎丘リハビリテーション病院	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	③
山本 智子	福岡保健学院	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日(2年)	
淀川 めぐみ	福岡保健学院 武雄看護リハビリテーション学校	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日(2年)	
田川 秀明	福岡保健学院 福岡和白リハビリテーション学院	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
中村 佳奈	福岡保健学院 福岡和白リハビリテーション学院	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日(2年)	
磯邊 恵理子	福岡保健学院 下関看護リハビリテーション学校	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
豊島 宇茂	福岡保健学院 八千代リハビリテーション学院	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日(2年)	
野田 佳奈恵	福岡保健学院 福岡看護専門学校	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
諫山 沢代	福岡保健学院 福岡水巻看護助産学校	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
山崎 圭	福岡保健学院 武雄看護リハビリテーション学校	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
御幡 瞳	福岡保健学院 福岡水巻看護助産学校	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期  
 (年間開催数)  
 年2回 9月 3月  
 (開催日時)  
 第1回 平成28年9月8日(木) 14:00~16:00  
 第2回 平成28年12月2日(金) 14:00~16:00  
 第3回 平成29年3月29日(水) 14:00~16:00 学校毎の分科会 16:00~16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況  
 統合実習は夜間実習を20時までとし、多くの技術経験と、タスク・タイムマネジメントなど実施していたが、集大成の実習としては内容をさらに深めて、多くの経験をさせ考えさせてはどうかと意見をいただいた。夜間実習時間の延長や個々の学生の技術経験表を活用しての積極的な診療の補助技術の見学や実施の計画、継続看護についてはソーシャルワーカーによる講義を計画する。さらに、受け持ち患者について学生がプランニングできるようなプロセス指導、卒業後を見据えた看護記録(SOAP)の経験など取り入れる方向で平成29年度は計画する。また、管理実習では管理者のシャドーイングを実施するが、看護師が判断したことを言語化してもらうと同時に、学生とリフレクションを実施し学びや課題を具体的に表現できるようにしてもらうことで同意を得た。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、臨地実習施設と協力して、臨地で求められる人材を育成してきた。特に実習に関しては実習施設と連携を図り、その実習で学ばせたい内容、その施設で学んでほしい内容、その施設で学べる内容を確認し、実際の看護実践の基礎が学べるようにしている。また、専門知識・技術のみでなく、看護職としての態度、特に倫理面の育成に力を入れている。看護師に必要な能力は実践力であり、実践するためには知識が必要で、学内では講義・演習等を履修する。現実的な根拠に裏付けられた看護師としての具体的な行動は、実際のリアルな臨地の場での様々な対象者とのかかわりからしか学べない。そのため、実習施設では、多くの経験をさせていただき、その中で「看護」というものを深く考える機会としたい。また、対象者の生活の場は幅広く、看護の対象はあらゆる経過の全成長発達段階にある人である。そのため、多くの施設に協力もらい学校側・施設側が同じ目標に向かって学生を共に育てていく姿勢を持ち支援していく。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

臨地実習は定められた実習計画に従って履修する。次年度の全学年の実習計画を実習施設と調整して実習計画を立案する。その実習計画に従って、病院と実習科目・実習期間・実習時間・実習病棟・実習学生数等について契約を交わす。実習内容の具体的なことについては、実習前に指導者会議を開催し、教員・病棟管理者・実習指導者が実習要項を基に、実習目的、目標を達成するための内容確認、意思統一を図る。実習開始後は実習計画を基に、専任の実習担当教員を中心に病棟師長、実習指導者、看護師が学生の看護実践に関して助言、指導を行う。また、毎日カンファレンスを開催し学生間の情報共有を行う場とし、教員・病棟管理者・実習指導者は内容について指導・助言を行う。さらに、患者の状態のアセスメント・ケアの必要性など口頭もしくはレポート指導を行う。学生のコンディションや理解度の進捗状況を、教員と病棟管理者・実習指導者は実習期間を通して、常に情報の交換を行い、目標達成に向けての教育方針に齟齬が生じない様に指導にあたっている。また、学生・患者間で何らかの問題が発生した場合は、病棟と共に検討し、振り返りを行い機会教育へと繋げている。実習の評価については、実習期間中の出席時間が全体の2/3以上の学生が評価対象となる。中間もしくは必要時に実習指導者と担当教員にて学生の看護実践状況について形成評価を行い、到達度と達成に向けての方略を考えている。各領域の実習目標に沿った評価表に基づき、臨地実習における看護実践の記録および実習レポートの記載内容、学生の自己評価を基に実習指導者が評価を行った後、最終評価を担当教員が行う。評価に差があった場合は実習指導者と担当教員にて検討する。実習終了後は、指導者会議にて「実習のまとめ」発表を行い、当該年の学びを実習病院・学校で共有し課題を見出し次年度に活かす。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

実習施設総数 21施設		
科目名	科目概要	連携企業等
基礎看護学実習Ⅱ	受け持ち患者への看護を通して、対象理解に努めながら一連の看護過程の展開を試み、患者に必要な基礎的看護技術を実践する。 また、看護師として必要な自覚と責任ある態度を養う。	新武雄病院 青洲会病院 ひらまつ病院
成人看護学実習Ⅲ	終末期・治療困難な状態にある患者の特徴を理解し、看護に必要な基礎知識・技術・態度を習得し、症状の緩和、QOLの向上にむけた看護実践ができる能力を養う。	新武雄病院 西田病院(緩和ケア病棟)
老年看護学実習Ⅰ	老年期にある患者の身体的・心理的・社会的側面などの特徴を知り、患者の健康上の問題を把握し、患者とその家族に対し看護が実施できる。	新武雄病院 青洲会病院 ひらまつ病院
小児看護学実習	小児各期の成長発達を理解し、さまざまな健康レベルにある小児とその家族に対する看護が出来る能力を養う。	東佐賀病院 武雄こども園(旧名:たけお保育園)
統合実習	看護チームの一員としての体験を通し、既習の知識・技術・態度を統合し、看護実践能力を身につけることができる。	新武雄病院

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

就業規則(学会出張における細則)において、年1回の中央学会への参加、年2回の地方研修への参加が規定されており、指導力の向上に関することはもちろん、自分の看護師としての専門性を高めるための研修に積極的に参加するよう促している。福岡保健学院の看護学校4校合同で「中央研修」を計画し、教育力向上のための研修、専門領域別研修、教養研修と等を毎年計画・実施する。また、企業側である関連グループの病院と共に開催している合同学術研究発表会に参加し、最新の医療や臨床看護の実際や取り組みについて知見を得ている。平成28年度は本校教員が合同学術研究発表会にて「看護学生の緩和ケア病棟における看護学実習での学び」について質的研究を発表した。その他の学会においても、共同演者として参加する教員もあり、研究能力の向上に努めている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

i. 専攻分野における学会研修会への参加

研修会等名	テーマ	内容	期間	対象	連携企業等

小児看護エキスパートナース養成講座	疾患別小児看護	小児に多い疾患について解剖生理から看護への活用の仕方を学び、事例を基に看護の検討会が行われ、小児看護学における教育の指導力の向上を図った	平成28年8月29日、9月24日、10月28日、11月25日、12月16日	小児看護学担当教員1名	佐賀大学看護学科 講師：小児看護学領域教授 鈴木知恵子
日本家族計画協会セミナー	指導者のための避妊と性感染症予防セミナー	当学科の母性看護学の講義で学生に指導している避妊や性感染症に関する教育方法やその実践について学び、母性専門分野における指導力の強化を図った。	平成28年12月17日	母性看護学担当教員1名	日本家族計画協会 講師：理事長北村邦夫・河野産婦人科クリニック院長 河野美代子他
佐賀県里親推進フォーラム	こうのとりのメッセージ	当学科の母性看護学領域における講義・実習の指導内容に生かすため、熊本大震災時の母子支援の実際や愛着について学んだ	平成28年10月22日	母性看護学担当教員1名	講師：元慈恵病院看護部長 田尻由貴子・由来助産院 甲斐由香
日本母性衛生学会・学術集会	母性衛生に携わる喜び～自負と矜持～	周産期医療として母子を取り巻く環境として地域との連携や個人情報管理の実際などを学び、当学科の科目である母性看護学概論における指導内容に示唆を得た。	平成28年10月14日～15日	母性看護学担当教員1名	日本母性衛生学会 演者：正岡直樹(東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科・婦人科)他
佐賀県看護協会西部地区研修会	認知症看護	老年看護学領域の認知症看護について学んだ。講義や実習において学生の指導力向上を図った。	平成28年10月26日	成人・老年看護学担当教員3名	佐賀県看護協会 講師：認知症看護認定看護師 市丸徳美
日本産業カウンセラー協会佐賀地域研修会	認知行動療法「思春期・青年期の問題行動」	当学科対象の学生の年齢における支援を行うために必要な思春期青年期の特徴、教育における臨床心理学の役割、学生の危機とその対応について学び、実際の学生支援に役立った。	平成29年2月26日	教員1名	日本産業カウンセラー協会 講師：西九州大学臨床心理学専攻 専攻長 教授 古賀靖之
日本産業カウンセラー協会佐賀地域研修会	認知行動療法「問題解決法」	当学科対象の学生支援を行うために有用な認知のゆがみに対する支援、問題解決法を学び、実際の学生指導力の向上を図った。	平成28年5月28日、8月27日	教員1名	日本産業カウンセラー協会 講師：西九州大学臨床心理学専攻 専攻長 教授 古賀靖之
第24回日本ホスピス・在宅ケア研究会	いのちを受けとめる町づくり～日本のホスピスが忘れてきたもの	当学科の教育内容である終末期看護の知識(人生の最終段階のとらえ方・生き方)について学ぶ内容であり、専門分野における指導力の強化につながった。	平成29年2月4日～5日	成人看護学終末期看護担当教員1名	第24回日本ホスピス・在宅ケア研究会 講師：二ノ坂保喜(いのさかクリニック医師)他
日本看護学校協議会学校長会	地域包括ケアにおける看護師の役割	訪問看護の現状と課題について学んだ。当学科の基礎看護学で学生に享受する内容であり示唆を得た。	平成28年6月13日	教員1名	日本看護学校協議会 講師：全国訪問看護事業協会常任理事 高砂裕子

## ii. 関連病院での合同学術研究発表会への参加

研修会等名	テーマ	内容	期間	対象	連携企業等
第33回合同学術研究発表会	病棟・外来における看護研究発表 特別講演「院内感染防止対策」	当学科の学生の実習での学びを質的にまとめ発表した。また、病棟・外来における看護研究の取り組み(医療安全・看護用具の工夫など)を知見を得た。	平成28年8月28日	教員5名	新武雄病院をはじめとするグループ8病院

## iii. 関連学校での中央研修への参加

研修会等名	テーマ	内容	期間	対象	連携企業等
中央研修(福岡保健学院看護学校)	関連校 役割・専門領域別交流会	看護学科のある4校の教員が専門領域別に研修を実施し、専門分野における教育内容・方法等を検討することにより指導力の向上を図った。	平成28年8月4日～12月19日	各専門領域教員9名	福岡保健学院看護学科4校

## ②指導力の修得・向上のための研修等

### i. 佐賀県専任教員養成講習会

研修会等名	テーマ	内容	期間	対象	連携企業等
佐賀県看護協会主催：専任教員養成講習会	専任教員養成講習会	看護専任教員養成のための講習に参加し、教育課程、教育方法等を学び、教員としての資質の向上を図った。	平成28年6月1日～平成29年1月31日	教員1名	佐賀県医務課 佐賀県看護協会

### ii. 授業設計・方略に関する研修

研修会等名	テーマ	内容	期間	対象	連携企業等
佐賀県看護教員研修会	学生の力を引き出す授業コミュニケーション力 アクティブラーニング	能動的な教育方法を学ぶことで当学科の学生への指導力の向上を図った。	平成29年3月13日	教員5名	佐賀県医務課 講師：佐賀大学教育学部教授 達富洋二

中央研修 (福岡保健学院看護学校)	学生と主に学ぶ・共に創る授業をめざして ～授業デザインの基本的な考え方と実際～	関連4校で研修会を開催し、授業デザインに関して新たな知識を得た。能動的な教育方法を学ぶことで当学科の学生への指導力の向上を図った。	平成28年9月10日	教員10名	福岡保健学院看護学科4校 講師：藤沢市教育文化センター 目黒悟
業者主催：看護セミナー	小児看護学の授業設計と教授方法	小児看護学の構築、子どものイメージ化に向けての教育方法の工夫を学び、講義・実習の指導力の向上を図った。	平成28年8月31日	小児看護学担当教員1名	講師：日本赤十字看護大学 小児看護学領域教授 江本リナ
業者主催：看護セミナー	看護学生・看護師への看護過程・看護診断のわかりやすい教え方	看護実践における手段として必要な内容を学び、実際の「看護過程」の講義や『看護学実習』における指導に活かせる内容を学び、指導力向上を図った。	平成29年3月11日	基礎・成人・老年看護学実習担当教員6名	講師：川崎市立看護短期大学教授 滝島紀子
業者主催：看護セミナー	統合分野「看護の統合と実践」の授業設計・展開と演習・実習の調整と進め方	当学科の教育内容のまとめとなる統合分野における授業の組み立てや実際を具体的に学び、また、看護技術力向上のための指導について示唆を得た。	平成28年10月16日	統合分野担当教員1名	講師：大阪病院附属看護専門学校 三浦千里・大阪病院看護部長 村上博美
業者主催：看護セミナー	「専門分野Ⅰ（基礎看護学）」の授業設計と教育方法	当学科の専門分野の学習の基礎となる基礎看護学の授業設計や教育方法を具体的に学び、講義・実習の指導力の向上を図った。	平成28年11月26日	基礎看護学担当教員1名	講師：京都中央看護保健大学 石東佳子・日本看護学校協議会会長 池西静江
日本看護協会看護セミナー	日常生活行動からみるヘルスアセスメントー看護形態機能学の枠組みを用いてー	当学科の授業科目であるヘルスアセスメントに直接的にかかわる内容であり、講義・実習の指導力の向上を図った。	平成28年8月6日	基礎看護学担当教員1名	日本看護協会 講師：聖路加国際大学大学院看護学研修科 大久保暢子
第36回日本看護科学学会	東京情報伝達の困難さの研究ー看護学生への情報の授業から(共同研究 発表)	当学科に直接的に関連のある看護教育に関する研究発表を聞き、実習での指導の在り方、体験からの学びの構築など知識を得た。	平成28年12月10日	教員1名	日本看護科学学会

### iii. 教育評価に関する研修

研修会等名	テーマ	内容	期間	対象	連携企業等
業者主催：看護セミナー	パフォーマンス課題とルーブリックを活用したパフォーマンス評価の実際(実習編)	当学科の実践教育の中心となる実習における教員としての指導の在り方、学生の学びの強化とその評価について新たな知識を得ることで指導力の向上を図った。	平成28年11月6日	実習担当教員4名	講師：あじさい看護福祉専門学校 糸賀暢子
業者主催：看護セミナー	パフォーマンス課題とルーブリックを活用したパフォーマンス評価の実際(授業・演習編)	当学科で大切な看護実践力を身につけるための授業・演習の方法について新たな知識を得ることで指導力の向上を図った。	平成29年3月19日	教員1名	講師：あじさい看護福祉専門学校 糸賀暢子

### iv. 学生理解・学習支援に関する研修

研修会等名	テーマ	内容	期間	対象	連携企業等
長崎県立大医学シーボルト校看護学科FD研修会	発達障害の理解、臨地実習における支援について	当学科に入学する学生の支援方法について知識を得ることができる研修であり、支援方法に活かせる内容であった。	平成28年8月1日	教員3名	長崎県立大学看護学養学部看護学科 講師：九州看護福祉大学看護福祉部 水間宗幸
業者主催：看護セミナー	「困った行動」に毅然と対峙できる力をつける	当学科に入学する学生の支援方法について知識を得ることができる研修であり、支援方法に活かせる内容であった。	平成29年1月21日	教員1名	講師：細木ユニティ病院看護部長 岡本 真知子
佐賀県専任教員養成講習会	特別講演「看護学教育における看護教育者の役割」	当学科である看護教育における看護実践能力を身につけるために「看護とは」「看護技術の実践」について学び改めて看護教育を考える機会となった。技術教育の構築に示唆をえた。	平成29年1月25日	教員1名	佐賀県医務課 佐賀県看護協会 講師：前広島県立保健福祉大学副学長。保健福祉学部看護学科・教授 田島桂子
日本教育心理学会	地域から描く教育の未来ー多様性を支える教育心理学ー	当学科に入学する年齢層のとらえ方、リフレクションの方法と教師の成長の関連、協同学習など学生の特徴をとらえた指導の在り方について知識を得た。指導力の向上を図った。	平成28年10月9日～10日	教員2名	日本教育心理学会
臨地実習指導者研修会(新武雄病院主催)	現代若者の気質・考え	当学科に入学する学生の支援方法について知識を得ることができる研修であり、支援方法に活かせる内容であった。	平成28年8月8日	教員6名	新武雄病院 講師：NPO法人ここねっと・くるめ 臨床心理士 上瀧純一

### v. 国家試験学習支援に関する研修

研修会等名	テーマ	内容	期間	対象	連携企業
看護師国家試験対策セミナー	第105回看護師国家試験の傾向分析と効果的な学習方法	当学科の取得資格である看護師国家試験に向けての教授方法について知識を得、指導力の向上を図った。	平成28年4月23日	教員2名	講師：東京アカデミー講師

指導者セミナー	看護師国家試験対策年間戦略策定セミナー	当学科の取得資格である看護師国家試験に向けての教授方法について知識を得、指導力の向上を図った。	平成29年3月25日	教員2名	メディカ出版 講師: サトラ サービス代表 内田都良
---------	---------------------	---	------------	------	-------------------------------------

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

i. 専攻分野における学会・研究会への参加

研究会等名	テーマ	内容(目的含む)	期間	対象	連携企業等
第35回合同学術研究発表会	研究発表: 看護部門・医局部門・医療技術部・事務部門 特別講演: 最近の放射線治療	看護実践の場である病棟・外来における近年の看護の取り組みをまとめた看護研究発表を聞くことで知識を得、看護教育に反映する。	平成29年9月17日	教員5名	新武雄病院をはじめとするグループ8病院
第36回合同学術研究発表会	研究発表: 看護部門・医局部門・医療技術部・事務部門 特別講演: テーマ未定	看護実践の場である病棟・外来における近年の看護の取り組みをまとめた看護研究発表を聞くことで知識を得、看護教育に反映する。	平成30年2月予定	教員5名	新武雄病院をはじめとするグループ8病院
新武雄病院主催: 症例報告会 管理者研修 看護実践研修	事例(医療・看護) 働き方・ハラスメント等 看護技術・医療安全等	近年の看護の実際や取り組みを知ることで、看護教育に反映する。	未定	各教員3名	新武雄病院

ii. 各専門領域における研修会への参加

研究会等名	テーマ	内容(目的含む)	期間	対象	連携企業等
看護学校 中央研修	専門領域・役割別交流会	看護学科のある4校の教員が専門領域別に研修を実施し、専門分野における教育内容・方法等を検討することにより指導力の向上を図り、教育の質を担保する。	平成29年6月～12月	全教員	福岡保健学院 看護学科4校
専門分野学会・研修	各専門分野: 成人・老年・在宅・母性・小児・精神	専任教員の専門分野における知識を深め、担当科目の教育内容・方法に反映させる。	平成29年4月 ～平成30年3月	全教員	各学会 看護に関するセミナー業者
佐賀県看護協会西部地区研修	在宅看護(仮)	当学科の看護において近年重要視されている在宅看護に関して知見を得、教育内容に反映させる。	平成29年10月18日	教員2名	佐賀県看護協会

② 指導力の修得・向上のための研修等

i. 授業実践方法・評価・専門分野内容

研究会等名	テーマ	内容	期間	対象	連携企業等
看護学校 中央研修	授業リフレクション	関連4校で研修会を開催し、能動的な教育方法を具体的に学ぶことで実際に取り組み、当学科の学生への指導力の向上を図る。	未定	全教員	福岡保健学院 看護学科4校 講師未定
	アクティブラーニング	関連4校で研修会を開催し、能動的な教育方法を具体的に学ぶことで実際に取り組み、当学科の学生への指導力の向上を図る。	平成29年9月	全教員	福岡保健学院 看護学科4校 講師: 佐賀大学 教育学部教授 達富洋二
	シミュレーション教育	関連4校で研修会を開催し、能動的な教育方法を具体的に学ぶことで実際に取り組む。判断力、実践力を強化する方法として当学科の学生への指導力の向上を図る。	平成29年8月	全教員	福岡保健学院 看護学科4校 講師: 日本赤十字九州国際看護大学 講師 苑田裕樹
	国試対策についての研修会	当学科の取得資格である看護師国家試験に向けての傾向と対策を知り、教授方法について知識を得、指導力の向上を図る。	平成29年6月～12月	教員2名	未定
授業方法に関する研修	LTD教育に関する研修	能動的な教育方法を学ぶことで当学科の学生への指導力の向上を図る。	平成29年8月	教員2名	講師: 久留米大学文学部 教授 安永悟
	シミュレーション教育(岡山大学)	岡山大学のシミュレーションセンターで実際に学習者の立場、教育者の立場両方の視点から、能動的な教育方法を具体的に学ぶことで、当学科の学生への指導力の向上を図る。	平成29年5月(2日間)	教員1名	講師: ハワイ大学Benjamin・琉球大学医学部 付属病院 木本元・岡山大学医療教育総合開発センター 万代康弘
	ヘルスアセスメント	当学科の授業科目であるヘルスアセスメントに直接的にかかわる内容であり、講義・実習の指導力の向上を図る。	平成29年9～10月(2日間)	教員1名	日本看護協会 出版会 講師: 三重県立看護大学 理事長・学長 菱沼典子

	「急性期」の理解を深める授業・演習・実習の実際	当学科の専門分野の成人看護学の授業設計や教育方法を具体的に学び、講義・実習の指導力の向上を図る。	平成29年7月	教員2名	講師：城西国際大学看護学部看護学科長 岩田浩子
評価に関する研修	ルーブリック評価に関する研修	能動的な学びを支援するものとして、教育評価における規準・基準について見直す必要があり、知識を得、評価の修正に取り組む。	平成29年10月	教員5名	講師：防衛医科大学校 医学教育部看護学科准教授 北川明
諸学会	日本看護協会学会「看護教育」 「日本看護学教育学会」 「日本看護科学学会」	専任教員の専門分野や教育方法における知識を深め、担当科目の教育内容・方法に反映させる。	平成29年8～12月	希望者	各学会看護教育に関するセミナー業者

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価を通じ、教育活動及び学校運営を点検し、継続的に改善することで、社会の変化に対応できる学校組織を目指すとともに、情報公開により学校の透明性向上を図る。また、自己点検・自己評価、学校関係者評価を行うことで、全教職員が学校の状況及び目標・方向性を共有することで、教育活動及び学校運営の改善を円滑に推進する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	①教育理念・目的・目標・育てたい卒業生像の明確化②学生・保護者・学校関係者への周知③医療・保健・福祉のニーズとの整合性
(2) 学校運営	①事業計画の策定②運営組織・意思疎通機能の明確化③情報システム化による業務の効率化
(3) 教育活動	①教育理念に沿った教育課程編成・実施方針の策定②実践教育の視点に立ったカリキュラム・教授内容の工夫及び開発③医療・保健・福祉実践教育の体系化④授業評価実施体制⑤教育力向上のための研修の実施
(4) 学修成果	①就職率向上への努力②退学率・原級率の低減の努力③国家試験合格率への努力④卒業生の状況を教育活動に反映
(5) 学生支援	①学生相談及び就職相談に関する体制整備②学生生活指導及び安全管理に関する体制整備③高校や保護者と連携した指導の取り組み
(6) 教育環境	①教材及び教育環境改善の取り組み②臨地実習における環境改善の取り組み③防災に関する体制整備
(7) 学生の受入れ募集	①高等学校等への適切な情報提供②資格取得・就職状況等の正確な情報提供
(8) 財務	①中長期的に学校の財務基盤の安定②予算・収支の妥当性③会計監査の適切な実施
(9) 法令等の遵守	①法令・設置基準等の順守と適正な運営②個人情報保護対策
(10) 社会貢献・地域貢献	①学校施設を活用した社会貢献・地域貢献②学生のボランティア活動の推奨及び支援
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校運営におけるPDCAサイクルを確立し、質の高い教育を提供できる法人組織力を高めていく。学校関係者評価結果を活用した重点目標を作成し自己評価・学校関係者評価につなげていく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
阿部 正剛	福岡市市議会議員	平成28年4月1日～平成30年3月31日	地域委員
後藤 歩	済生会二日市病院 看護師	平成28年4月1日～平成30年3月31日	卒業生
松木 秀明	東海大学 看護学科 特任教授	平成28年4月1日～平成30年3月31日	有識者委員
新井 光男	首都大学東京 健康福祉学部 理学療法学科教授	平成28年4月1日～平成30年3月31日	有識者委員
桑名 俊幸	福岡和白病院 医療連携室室長	平成28年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
山縣 みどり	福岡新水巻病院 看護部長	平成28年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ 7月

URL:<http://www.takeo-nurse-reha.jp/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校全体の教育の質の保証・向上の観点から、以下の内容をHP等で情報開示を行い、学校運営の透明化を図る。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
-----------	-----------

(1)学校の概要、目標及び計画	①校長名 ④学校の沿革 ⑦運営方針	②所在地 ⑤学校の特色 ⑧教育指導計画	③連絡先 ⑥教育目標 ⑨学校行事計画
(2)各学科等の教育	①入学者選考の方針及び方法 ③入学者数及び在学者数 ⑤進級及び卒業要件 ⑦卒業生数及び卒業後の進路状況	②総定員数 ④教育課程 ⑥資格取得	
(3)教職員	①教職員数	②教職員の組織	
(4)キャリア教育・実践的職業教育	①キャリア教育への取組状況 ③就職支援の取組状況	②企業等との授業等の取組状況	
(5)様々な教育活動・教育環境	①学校行事への取組状況	②課外活動等の状況	
(6)学生の生活支援	①生活支援の取組状況		
(7)学生納付金・修学支援	①学生納付金	②修学支援の内容	
(8)学校の財務	①資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表		
(9)学校評価	①自己点検及び自己評価報告書 ②学校関係者評価による改善方策		
(10)国際連携の状況			
(11)その他			

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法 ホームページに公開

URL:<http://www.takeo-nurse-reha.jp/>



授業科目等の概要

(医療専門課程 看護学科) 平成28年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			論理学	推論の妥当性を支える理論の形成や構造について学び、自らの思考を検証し専門職としての科学的態度の基本を身につける。	1年前期	30	1	○			○			○		
○			健康科学	健康の概念について学び、健康レベルや対象の成長発達段階に応じた保健医療活動について理解する。身体活動の楽しさに触れ生涯を通じて運動を楽しむ態度・方法を学ぶ。	1年前期	15	1	○		△	○				○	
○			情報科学	医療情報を検索する能力、病院総合情報システムに対する能力を養う。データの収集から集計・統計・解析方法を学び、また、コンピューター演習ではワード・エクセル両アプリケーションを習得する。	2年前期	30	1	△	○		○				○	
○			心理学	多様な価値観のある人間の心の動きを理解し、看護の対象となる人々を総合的に理解する基礎的能力を養う。	1年後期	30	1	○	△		○				○	
○			成長発達論	人間のライフサイクルを理解し、各期における成長、発達の特徴、課題、問題発生への対処法などについての基礎的能力を養う。	1年前期	30	1	○			○				○	
○			人間関係論	自らの心の動きを理解すると共に、他者理解のための知識を得て、自己統制できる能力を身につけ、他者との関わり方について学ぶ。	1年後期	30	1	○			○				○	
○			倫理学	人が踏み行ふべき道を判断、善悪の区別をするための知識について及び職業上の倫理について学ぶ。	1年後期	30	1	○			○				○	
○			教育学	人間形成における教育の本質を学び、看護における健康教育、生活教育に活用する能力を養う。	1年後期	30	1	○			○				○	
○			家族社会学	個々の人間にとって家族とは何か、社会にとって家族とは何かを理解し、家族内の主要な諸関係を理解する。また、社会の組織、構造上の特徴を学ぶ。	1年前期	30	1	○			○				○	
○			文化人類学	世界の様々の民族の持つ文化や社会についての基礎的能力を身につけ、現代社会における文化の多様性、相対性について理解を深め、人々の把握について考えを深める。	1年前期	15	1	○			○				○	
○			生活科学	人間生活の基盤としての家庭生活、よりよい生活環境のあり方を科学的にとらえ、看護につなげられる能力を身につける。	1年前期	30	1	○			○				○	
○			英語 I (医療に関する基礎英語)	医療・看護に関する英語を学び、実践にいかすことができる。	1年前期	30	1	○			○				○	
○			英語 II (英会話)	医療場面で日常的に使用される基礎的英会話を身につける。	1年後期	30	1	○	△		○				○	
○			人体の発生と構造・血液の成分と機能	人体における細胞、組織を構造・機能の両面から学ぶ。また、血液の成分と働きについて理解する。	1年前期	30	1	○			○				○	
○			呼吸・循環の構造と機能	呼吸と循環のメカニズムと働きについて理解する。	1年前期	30	1	○			○				○	
○			消化・内分泌・腎泌尿・生殖の構造と機能	消化・内分泌・腎泌尿・生殖のメカニズムと働きについて理解する。	1年前期	30	1	○			○				○	
○			脳神経・骨格・筋・感覚の構造と機能	脳神経・骨格・筋・感覚のメカニズムと働きについて理解する。	1年後期	30	1	○			○				○	
○			生化学	生体を構成する化合物の変化を通して、生命現象を化学的に理解する。	1年前期	30	1	○			○				○	







○	国際看護	国際社会における保健・医療・福祉の実情を知り、国際協力について考えることができる。	2 年後期	15	1	○			○			○	
○	災害看護	災害時における医療の役割を知り、災害サイクルに応じた看護を行う必要性を理解し、災害時に必要な技術を実施できる。	3 年後期	15	1	○	△		○			○	○
○	看護管理	看護管理について看護師としてその役割を理解する。	3 年 通 年	15	1	○			○			○	
○	医療安全	医療安全に対する取り組みと医療事故の防止・対策を学ぶ。	2 年後期	15	1	○	△		○			○	
○	在宅看護論 実習	在宅における看護活動を通して、在宅療養者及びその家族を理解し、適切な看護ができる基礎的能力を養う。	3 年 前 期	90	2				○		○	○	○
○	統合実習	看護チームの一員としての体験を通し、既習の知識・技術・態度を統合し、看護実践能力を身につけることができる。	3 年 後 期	90	2				○		○	○	○
合計				85科目		3015時間 (101単位)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
(履修方法) 各授業科目の出席時数が3分の2以上で評価点60点以上で合格とし、単位を認定する。当該学年終了時まで所定科目の単位を修得した者について履修を認定する。 (卒業要件) 学校長は、教育課程に定められているすべての授業科目の単位修得を認定された者に対し、卒業認定を行う。 (留意事項)	1 学年の学期区分	2期	
	1 学期の授業期間	26週	

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。